

LGBTQ+の理解

河野禎之

筑波大学人間系



男女という二元論

LGBTQ+ よくある反応

「当事者はいるのか？」

当事者は周囲からは見えにくい

12～3人に1人 → 左利き・AB型とほぼ同じ分布

普通に日常にいる**はず**の状況

「いない」という状況

もっと重要なこと

「0」ではないということ

LGBTQ+とは？

ジェンダー／セクシュアリティ（性の在り様）

性自認

身体的性

性的指向

表現する性

割り当てられた性
（戸籍上の性）

ジェンダー／セクシュアリティ（性の在り様）

性自認

身体的性

Sexual Orientation

性的指向

表現する性

割り当てられた性
（戸籍上の性）

よくある誤解や偏見（代表例）

同性愛は個人の趣味だから自由である

→ 性的「指向」(Sexual “Orientation”)
であり、個人の趣味・嗜好ではない

ジェンダー／セクシュアリティ（性の在り様）

性自認

身体的性

性的指向

表現する性

割り当てられた性
(戸籍上の性)

Gender Identity
性同一性

よくある誤解や偏見（代表例）

性同一性は心と体の性が同一であること

→ 自己の性をどのように認識しているか
であり身体的性との次元とは独立する

※ただし相互に影響は受けうる

ジェンダー／セクシュアリティ（性の在り様）

性自認

ジェンダー／セクシュアリティ

身体的

≡ 様々なバリエーション

性的指

明確に区別できるものではない

表現す

かつ流動性も持ちうる

割り当てられた性
（戸籍上の性）



ジェンダー／セクシュアリティ（性の在り様）

性自認

♀

Lesbian レズビアン：女性の同性愛者

性的指向

♀

表現する性

割り当てられた性
（戸籍上の性）

ジェンダー／セクシュアリティ（性の在り様）

性自認

♂

Gay ゲイ：男性の同性愛者

性的指向

♂

表現する性

割り当てられた性
（戸籍上の性）

ジェンダー／セクシュアリティ（性の在り様）

Bisexual バイセクシュアル

性指向が異性の場合も同性の場合もある人、相手の性別にこだわらない人（厳密にはパンセクシュアル）

性的指向



表現する性

割り当てられた性
（戸籍上の性）

ジェンダー／セクシュアリティ（性の在り様）

性自認

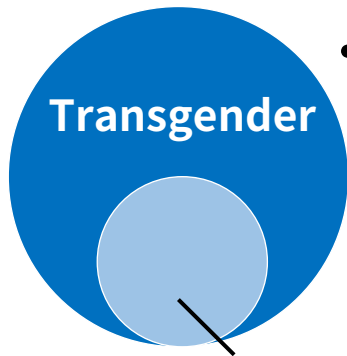
身体的性

Transgender トランスジェンダー

一部は性自認/性同一性と身体的性が異なる人
正確には「出生時に割り当てられた性」に関する概念

割り当てられた性
（戸籍上の性）

トランスジェンダー≠ 性別違和（性同一性障害）



• Trans-gender

Gender を Trans する理由
= 性別違和だけではない

性別違和/性別不合/性同一性障害

トランスジェンダー≠ 性別違和（性同一性障害）

トランスジェンダーの全員が性別適合手術を
望んでいるわけではない

自認する性別として社会生活を送れるのなら、
身体への違和感と折り合える人もあり、
その程度はさまざまである

共生社会をつくるセクシュアル・マイノリティ支援全国ネットワーク「セクシュアル・マイノリティ白書2015」

よくある誤解や偏見（代表例）

- トランスジェンダーは性同一性障害のこと
→ 性別違和とトランスジェンダーは異なる概念
- トランスジェンダーは全員性別適合手術を望んでいる
→ 望む生き方は人によって異なる

ジェンダー／セクシュアリティ（性の在り様）

• Questioning（クエスチョニング）

性的な在り方を模索／明らかにしていない人等

• Ally（アライ）

理解/支援する非当事者

→ 性の多様性を尊重し支持を表明する人

当事者＝支援される側
非当事者＝支援する側
???

同性愛（両性愛）とトランスジェンダー（特に性別違和）

性的指向
(LGB)

同性愛
(両性愛)

トランス
ジェンダー

(T)

割り当てられた性
⇔ 性自認

抱えている困難が根本的に異なる
「LGBT」と**十把一絡げ**にしない！

SOGI

Sexual Orientation and Gender Identity

性的指向と性自認の多様性を表現
(マジョリティも含む)

誤解が少ない

よくある誤解や偏見（代表例）

本人のためにも治療したほうがよい

→ 同性愛/性指向は1990年代に脱病理化が完了。

治療/矯正の対象ではない

※ICD-10が採択された1990年5月17日は国際反ホモフォビアデー

→ 性同一性障害は性別不合としてICD-11で脱病理化が図られる ※「性の健康に関連する状態」へ

まとめ

- ・人の性は、本来「多様」である
- ・しかし、社会は「男女二元論」のまま
- ・それぞれに異なる「生き方」を尊重する